

## 2016年4月の山西省

4月に入り、ますます気候が温かくなってきました。このレポートのネタがちょっと切れ気味だったので4月は意識的にイベントに参加してきました。

4月のはじめに友達の紹介で中国のドラマ撮影に行ってきました。前の日の夜にロケ班のホテル入りし、衣装合わせだけして次の日の本番に備え寝ました。

太原市の五つ星ホテル「晋祠宾馆」(JIN CI BIN GUAN)で撮影しました。

ドラマは「红色福尔摩苏」(HONG SE FUER MOSU)「中国版」探偵ホームズという名前で、第二次世界大戦の中国が舞台です。そのドラマの中で日本人役が必要ということで急遽、参加してきました。初めてのロケバス、メイク室、大物俳優との撮影と貴重な経験をしてきました。そして、ありがたいことにセリフもいただき、日本人のボスを演じてきました。

今回が中国での、テレビ関係の仕事二回目になりました。前は海南のテレビ局の中国版サスケ(スポーツイベント)に参加しました。撮影を終えて今回も前回も同じ感想を抱きました。「大雑把だ」ということです。

今回の撮影を振り返ってみると急に友達から連絡が来て、「二時間後に出発で歯ブラシを持ってきて！」と言われたのが始まりでした。また撮影の10分前にディレクターから中国語のセリフを日本語に訳してと言われ急ぎで翻訳し撮影に望みました。

中国では仕上がり65パーセントほどでゴーサインが出るような感覚を様々なイベントに出て受けます。日本であれば専門で翻訳する人、事務所に所属している外国人役者を手配すると思います。ですがこの「大雑把」のおかげで今回、「若者」である私にチャンスに回ってきたのでよしとしましょう。

別の日には、太原の英語サークルに行ってきました。主催者はみな海外留学、海外生活経験者でした。外国人の参加者も多く、大学教授や貿易会社勤務など様々な方が参加していました。

中国は3億人以上の外国語学習者がいるといわれています。日本語学習者がもっと増えて日本のことをまた埼玉のことを知ってもらうためにもっと活発に活動しようと身が引き締まりました。日本語クラスはもう始めたので今度は野球クラスを始める予定です。



撮影での一コマ



撮影後、有名俳優と記念撮影